

表 2.5 主要魚介類（5種）の生態特性

分布域
分布域（水深情報不足）

主要魚介類	卵形態	水深	産卵場	主な分布状態				泥	干潟	砂・泥	アマモ場	砂・礫	岩礁	幼魚・仔魚の分布域（産卵場所）					その他
				卵	仔魚期	稚魚期	産卵場							アラメ場	ガシメ場	ガラモ場	コンブ場	その他産卵場	
スズキ	分離性卵	表層	沿岸域（外海の水の深さを受ける水深50～80m）	浮遊生活（沿岸域）	浮遊生活（沿岸域） （仔魚産卵期はアサギ、河口域周辺に移動する）	浮遊生活	沿岸域（外海の水の深さを受ける水深50～80m）				稚魚期（体長17～60mmまで）								河川域・稚魚期（体長2～30mmまで）
		表層下-10m																	
		11～20m																	
		21～30m																	
		31～40m																	
		41～50m																	
マコガレイ	付着性卵	表層	沿岸域（水深10～50mの砂・泥・砂礫・岩礁）	海底塊状産卵	浮遊生活（産卵期で、水深10m前後）	底生生活（水深30m以上）	沿岸域（水深10～50mの砂・泥・砂礫・岩礁）					稚魚（30mm以上）							
		表層下-10m																	
		11～20m																	
		21～30m																	
		31～40m																	
		41～50m																	
イシガレイ	分離性卵	表層	内海（水深20m以上の砂・泥・砂礫）	浮遊生活（沿岸域）	浮遊生活から底生生活へ移行（産卵期後、産卵期以降）	底生生活（10m以上の場所）	内海（水深20m以上の砂・泥・砂礫）					稚魚期（10m以上の場所）							
		表層下-10m																	
		11～20m																	
		21～30m																	
		31～40m																	
		41～50m																	
マダイ	分離性卵	表層	沿岸域（水深30～100m）	浮遊生活（沿岸域）	浮遊生活（産卵期後、水深10m前後）	底生生活（水深20m以上）	沿岸域（水深30～100m）					稚魚（水深20m以上）							
		表層下-10m																	
		11～20m																	
		21～30m																	
		31～40m																	
		41～50m																	
アサリ	分離性卵	表層	内海・内湾の浅間帯～10mまでの砂・泥域	浮遊生活（沿岸域）	浮遊生活（幼生期）	底生生活（浮遊期2～3週間後着床）	内海・内湾の浅間帯～10mまでの砂・泥域					稚魚							
		表層下-10m																	
		11～20m																	
		21～30m																	
		31～40m																	
		41～50m																	

出典：沿岸近海における海洋生物の生態知見（魚類・イカ・タコ類）（財）海洋生物研究所、1991）

新産卵期表（下）改訂版（報告書・田中見、1998）

水産生物の生活史と生態（（社）日本水産資源保護協会、1985）

主要対象生物の繁殖・育成の生態的知見の取集整理（平成18年度水産資源調査報告書・水産庁、2006）

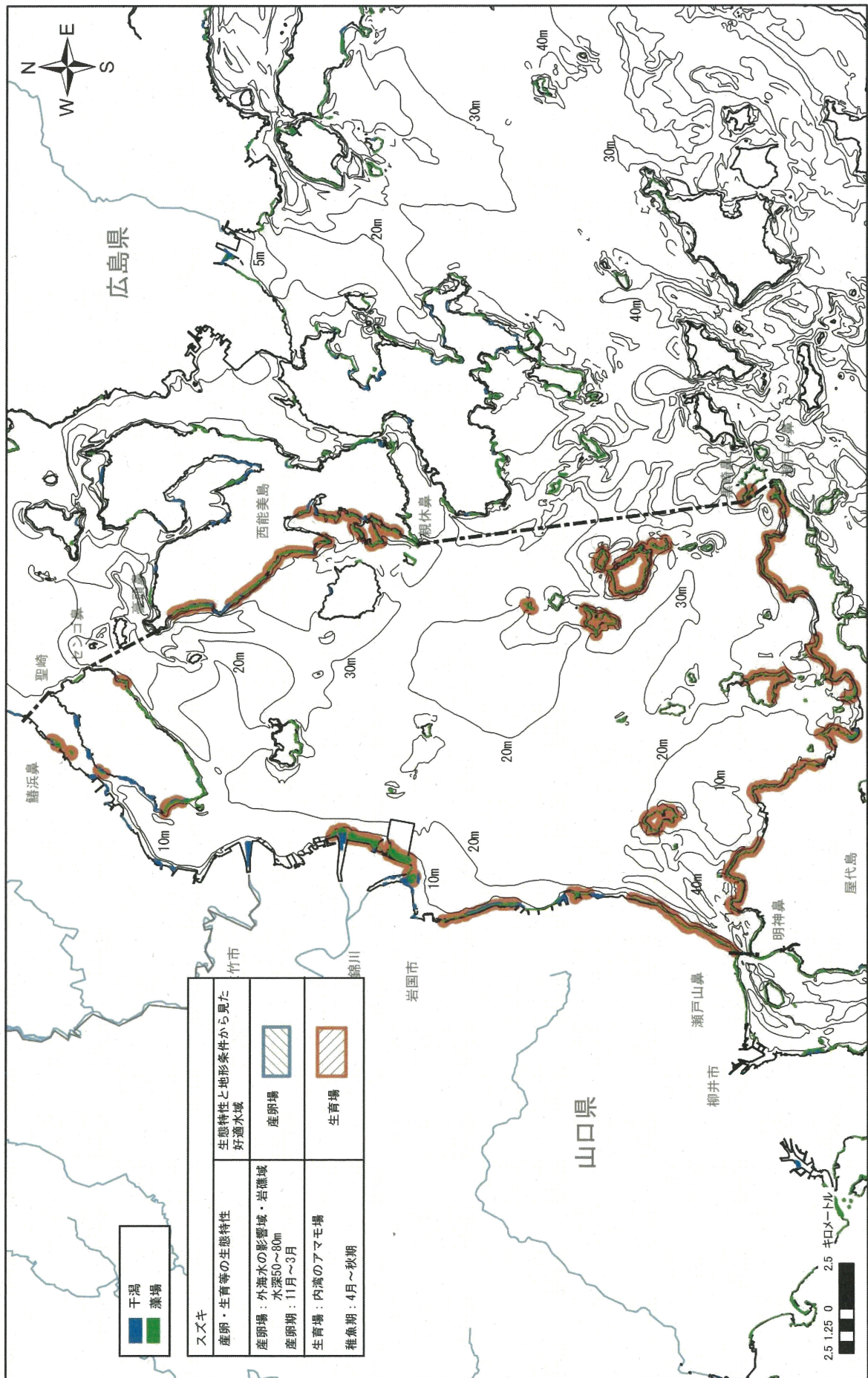


図 2.9 (1) スズキの生態特性・海域の地理条件・水質条件から見た好適な水域 (産卵場・生育場)

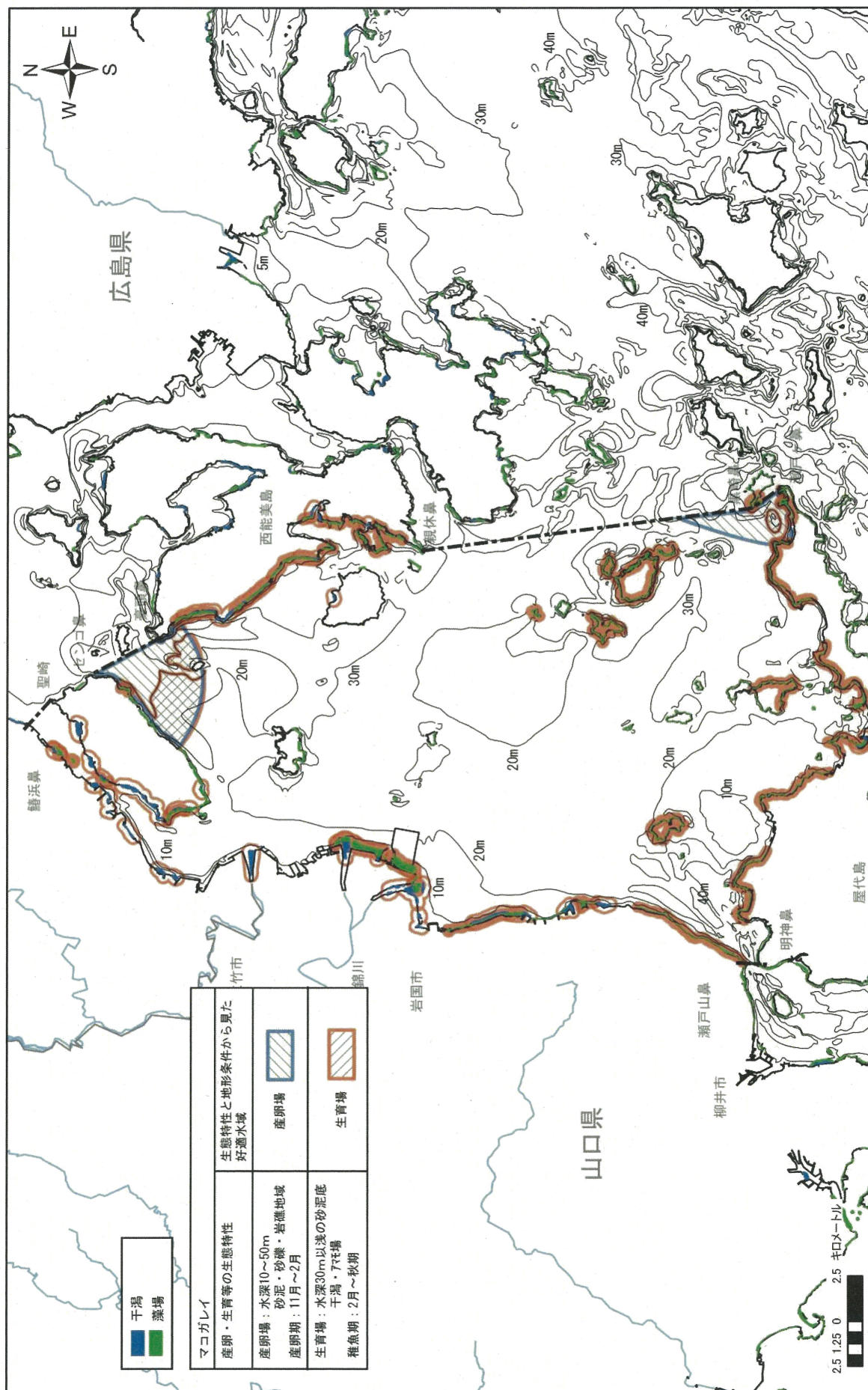


図 2.9 (2) マコガレイの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）